

準備をするためには、時間が必要です。

チャンスをつかむには、時間の使い方を変えることです。

上司から頼まれる仕事には、「急がなくていいよ」と言われる場合と「大至急」と言われる場合があります。

「大至急」という仕事では、差がつきません。

頼まれた人は、みんな大至急ですからです。

差がつくのは、「これ、急がなくていいよ」と言われた仕事です。

この時、2通りにわかれるのです。

「急がなくていいよ」と言われてのんびりする人は、チャンスをつかめません。

しないわけではありませんが、自分のペースで空き時間にするのです。

一方で、チャンスをつかめる人は、「大至急」と言われたことも、「急がなくていいよ」と言われたことも、大至急でします。

すると「エッ、『急がなくていい』と言ったのに、もうできたの?」と、相手は驚きます。

「大至急」と頼んだことが大至急でできても、あまり感動はありません。

頼んだ人は、「急がなくていいよ。悪いから」と言ったにもかかわらず、早く仕上げられると「こいつ、やるな」と見直します。

チャンスは、「急がなくていいよ」と言われる仕事にこそあるのです。

生まれ変わるために 01

「急がなくていいよ」ほざく、早くしななな。
